令和　８年１１月「月　報」

１　はじめに

８月「月報」で、超党派の国会議員による「自衛隊員・退職自衛隊員・家族を支援する議員連盟」（会長：中谷元　前防衛大臣、自衛隊家族会顧問）の発足をお伝えしましたが、10 月 13 日には「自民党　自衛隊の人的基盤強化を実現する議員連盟」（会長：小野寺五典　元防衛大臣）が発足しました。

その設立の趣旨には、募集の強化、自衛官の魅力ややりがいの引き上げ（処遇改善）は勿論のこと、「任務の特性上、長期にわたり隊員が家庭を離れることも少なくない中、平素からその任務を支え続けている家族が、将来にわたって安心と希望を持って暮らせる環境を整えることも極めて重要」と謳われています。

増田会長以下、両会合に参加の機会をいただき、家族の声の施策への反映に向けて活動しておりますので、引き続きよろしくお願いします。

２　防衛省・自衛隊の活動（写真：官邸 HP,防衛省 HP 等）





（１）10 月 17 日、高市内閣総理大臣参列の下、防衛省慰霊碑地区で「令和８年度自衛隊殉職隊員追悼式」が挙行され、増田会長が列席し、任務遂行中に不幸にして職に殉じた隊員を追悼しました。今年度新たに 16 柱（陸９柱、海５柱、空１柱、機関１柱）が顕彰され、警察予備隊以降の累計は 2,158 となります。（陸　1,160 柱、海　518 柱、空　446 柱、機関　34 柱）防衛省 HP



（２）日米共同統合演習

自衛隊は 10 月 19 日から 10 月 29 日の間、日米共同統合演習（実動演習）を行いました。日米共同統合演習は 1985 年度に開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しており、実動演習は今回で 18 回目です。







（３）「さっぽろ雪まつり」大雪像制作協定を締結

10 月 22 日、令和９年２月４日から 11 日の予定で開催される「さっぽろ雪まつり」に向けて、札幌市と陸上自衛隊が協定を締結しました。

陸上自衛隊は 1955 年の第 6 回から雪像を制作しており、札幌近郊からの「雪」の輸送、雪像制作、開催期間中の雪像の維持等を担っています。

令和９年には大雪像１基を制作するとのことです。

（４）家族の日



【隊員の御家族も大切にする防衛省・自衛隊であるために】

小泉大臣は折に触れて、防衛力の中核は自衛隊員であり、その隊員の御家族も日本の防衛を支える大切な一員と仰っているところ、防衛省は全職員が家族の大切さを確認するとともに、職員を日頃から支える御家族に防衛省・自衛隊として感謝や敬意を示すため、毎年 11 月第３日曜日を防衛省の「家族の日」、その前後１週間を「家族の週間」として新たに設定しました。各所で様々な取り組みがなされる予定です。

（４）募集／広報

10 月 3 日　えびの駐屯地で体験搭乗









３　家族会の活動

（１）　防衛講演会を開催



10 月 25 日、那覇市のパシフィックホテル沖縄で、令和８年度第１回防衛講演会（担当：沖縄県自衛隊家族会）を開催しました。多くの聴衆を前に講師の佐藤正久氏（自衛隊家族会顧問、前参議院議員）が、「我が国を取り巻く安全保障環境と自衛隊が進むべき道」と題し、戦後最も厳しく複雑と言われる安全保障環境を、ドローンやロボット兵器等に係る最新の資料を示しながら分かり易くお話してくださいました。



（２）神奈川で防衛講話



伊藤講師

９月 26 日、神奈川県自衛隊家族会は、横浜市開港記念館で元海自横須賀地方総監の伊藤弘氏を講師に迎え、防衛講話を開催しました。「海上自衛隊の海外での活動と昨今の国際情勢～一海上自衛官の回想～」」と題した講演には、神奈川県自衛隊家族会の他、隊友会会員を含め約 100 人が参加・聴講しました。



お話は、1990 年に生起したイラクのクエート侵略による湾岸戦争後の海自掃海艇部隊派遣、PKO 派遣、米国同時多発テロ後の多国籍軍に対する給油等支援、ソマリア沖海賊対処等、わが国を取り巻く安全保障環境の変化に伴う自衛隊の任務の変化、特に海外における自衛隊の役割の変化について、講師がその要職を務められた際のお話を、貴重な写真、動画等を交えながら述べられたもので、わが国を取り巻く安全保障上環境の変換期に海上自衛官として要職を歴任された実務経験に基づく大変貴重で迫力のある講話でした。

最後に、時代が変わり、任務が変わっても、厳しい環境下で任務に当たる隊員にとっては、家族が精神的な支えであり、家庭は艦艇でいう母港のようなものである。とのお話が大変印象的でした。

（３）隊員の激励

ア　第５５次派遣海賊対処行動水上部隊の激励



藤岡会長　　小寺艦長

10 月 17 日、海自第３水上戦群第６水上戦隊所属の護衛艦「きりさめ」（艦長小寺２海佐）の約２００名（海保８名。）が佐世保から出港し、海賊対処行動の任務に就きました。

これに先立つ 15 日、長崎県自衛隊家族会藤岡会長が「きりさめ」を訪れ、小寺艦長、副長、先任伍長を激励しました。

不安定な中東地域にごく近い海域での活動、任務無事の帰還をお祈りしております。

イ　歓迎の横断幕の設置



大分県自衛隊家族は、10 月 19 日から日出生台演習場、十文字原演習場等で実施される日米共同統合演習（キーン・ソード）に参加する米海兵隊員歓迎の横断幕を演習場への県道沿いに設置しました。29 日までの訓練期間中、一般の通行者に向けて訓練に関心を持っていただき、日米同盟の重要性を考える機会を提供することを目的としています

（４）　葬送式に参列

10 月 7 日、海上自衛隊船越地区で行われた葬送式に、中條神奈川県家族会長（増田会長代理）と西村三浦半島地区会長が参列しました。故人は昨年 10 月に第 52 次派遣海賊対処行動水上部隊として派遣され、今年４月に帰港した護衛艦「おおなみ」乗員で、任務中に急病を発症し、加療中のところ逝去されたものです。

謹んでご冥福をお祈りします。

（５）各地で地域協議会を開催

ア　東北地域協議会：10 月 20 日、秋田市で東北地域協議会を開催しました。





安田東北地域協議会長をはじめ各県会長等の他、本部からは増田会長、乾東北地域担当委員が出席し、関係の各地方協力本部長、木全東北方人事部長、後村東北方面総監部人事部募集課長に参加していただきました。

会議では、東北地域協議会が設定した「家族会活動の活性化のための方策」と本部委託テーマの「自衛隊家族会を周知する方策」について活発な発表がなされ、積極的なイベントの企画や部隊・地本等との連携強化、情報発信などの意見が交換されました。その後の意見交換会には佐藤東北方総監、青木第９師団長、清田第 21 普通科連隊長兼秋田駐屯地司令、太田空自加茂分屯基地司令、関根秋田救難隊長、高橋秋田県隊友会長、山信田秋田県防衛協会会長代理にもご参加いただき、実りある時間を過ごして終了しました。



イ　北海道地域協議会：10 月 29 日、札幌市で北海道地域協議会を開催しました。

各県会長等の他、本部からは中村北海道地域担当委員が出席しました。

詳細は次号で・・・・。

４　事務局からの連絡

DW２７表紙



（１）「DW（ディフェンス・ワールド）２７」の購読申込案内

総合募集情報誌 DW２７は、１月末に完成予定です。

DW２７では、陸自：多賀城駐屯地、海自：横須賀地区、空自：芦屋基地を取材し、自衛隊員を目指す人や自衛隊を知りたい方に、最新の情報や写真を多く取り入れて、読み易く、かつ わかり易く編集しています。是非、募集協力活動や会員拡大にご活用いただきたく、また地本をはじめとする関係の皆様へお勧めいただくよう、お願い申し上げます。

申込みは、別添の「ディフェンス・ワールド２０２７年版購読申込書」を使用してメール、または FAX 等でご連絡をお願い致します。

なお**会員への販売価格は５００円／冊、申込期限は、申込書記載の通りです。**

（２）隊友会主催　中央防衛セミナー

11 月 18 日（水）13 時から 16 時、ＴＫＰ市ヶ谷カンファレンスセンターで、やい友会主催の令和８年度中央防衛セミナーが開催されます。中谷元　元防衛大臣、鈴木敦夫元防衛事務次官、山崎幸二　元統合幕僚長、久保文明　前防衛大学校長、磯部晃一元東部方面総監が「新「戦略３文書」と日本の安全保障」をテーマにパネルディスカッションします。入場無料です。

お近くの方は市ヶ谷の会場へお出かけください。

ご来場かなわぬ方は、右の二次元バーコードにより配信頁にアクセスできますので、是非ご覧下さい。（11／13 1300～LIVE、12／1 ～録画配信）

（３）ボランティア保険料の支払いについて

令和７年１０月から更新したボランティア保険が令和８年 10 月１日で満期（１年）を迎えました。各県家族会の保険料支払いにつきましては、事務局からの「保険料請求のご案内」が、お手元に届き、確認を頂いた後に１０月～１２月の間に支払いをお願いします。

（４）各種希望数の確認について

下記について要望数をそれぞれの時期までに事務局業務担当の梁池へご連絡下さい。

ア　入校・入隊者激励会用「おやばと」（無償配布）

入校・入隊者激励会用「おやばと２月号」希望数を**１１月３０日(木)**まで

イ　北方領土返還要求署名用紙

令和８年度希望数を　**１１月３０日(木)**　まで

（５）「活動状況等調査」の提出について

既に家族会本第２１号(令和８年４月２１日)で**令和８年１１月４日(火)を提出期限**としてお願いしております。提出が遅れている家族会があります。

よろしくお願い致します。

以上